

入学試験問題



地理歴史

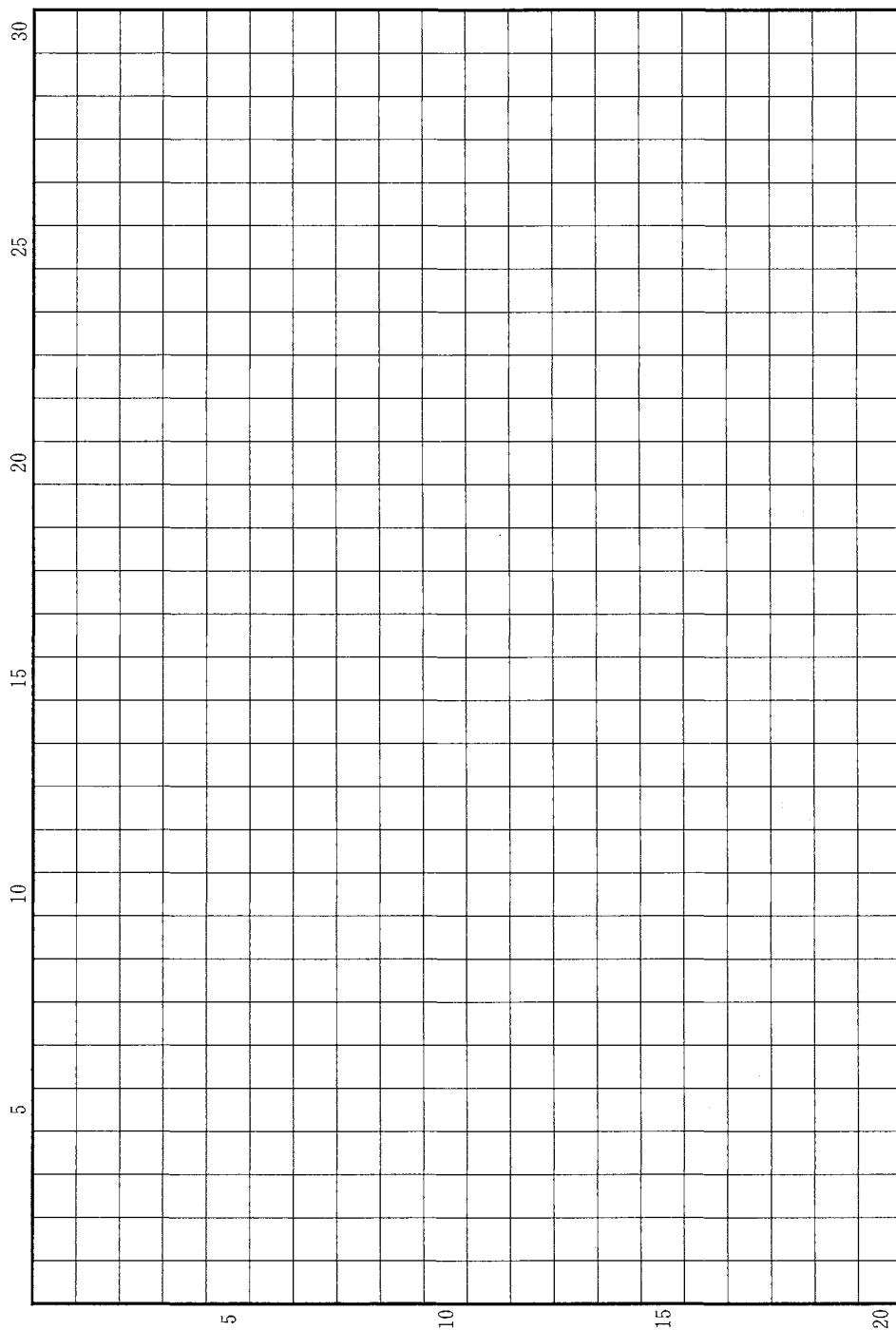
(配点 120 点)

平成 26 年 2 月 26 日 9 時 30 分—12 時

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 39 ページあります(本文は日本史 4 問 4～13 ページ, 世界史 3 問 14～23 ページ, 地理 3 問 24～39 ページ)。
落丁, 乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら, 手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 日本史, 世界史, 地理のうちから, あらかじめ届け出た 2 科目について解答しなさい。
- 4 解答には, 必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 5 解答は, 1 科目につき 1 枚の解答用紙を使用しなさい。
- 6 解答用紙の指定欄に, 受験番号(表面 2 箇所, 裏面 1 箇所), 科類, 氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 7 解答は, 必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 8 解答用紙表面上方の指定された()内に, その用紙で解答する科目名を記入しなさい。
- 9 解答用紙表面の上部にある切り取り欄のうち, その用紙で解答する科目の分を 1 箇所だけ正しく切り取りなさい。
- 10 解答用紙の解答欄に, 関係のない文字, 記号, 符号などを記入してはいけません。また, 解答用紙の欄外の余白には, 何も書いてはいけません。
- 11 この問題冊子の余白は, 草稿用に使用してもよいが, どのページも切り離してはいけません。
- 12 解答用紙は, 持ち帰ってはいけません。
- 13 試験終了後, 問題冊子は持ち帰りなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



日 本 史

第 1 問

次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。解答は、解答用紙(イ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

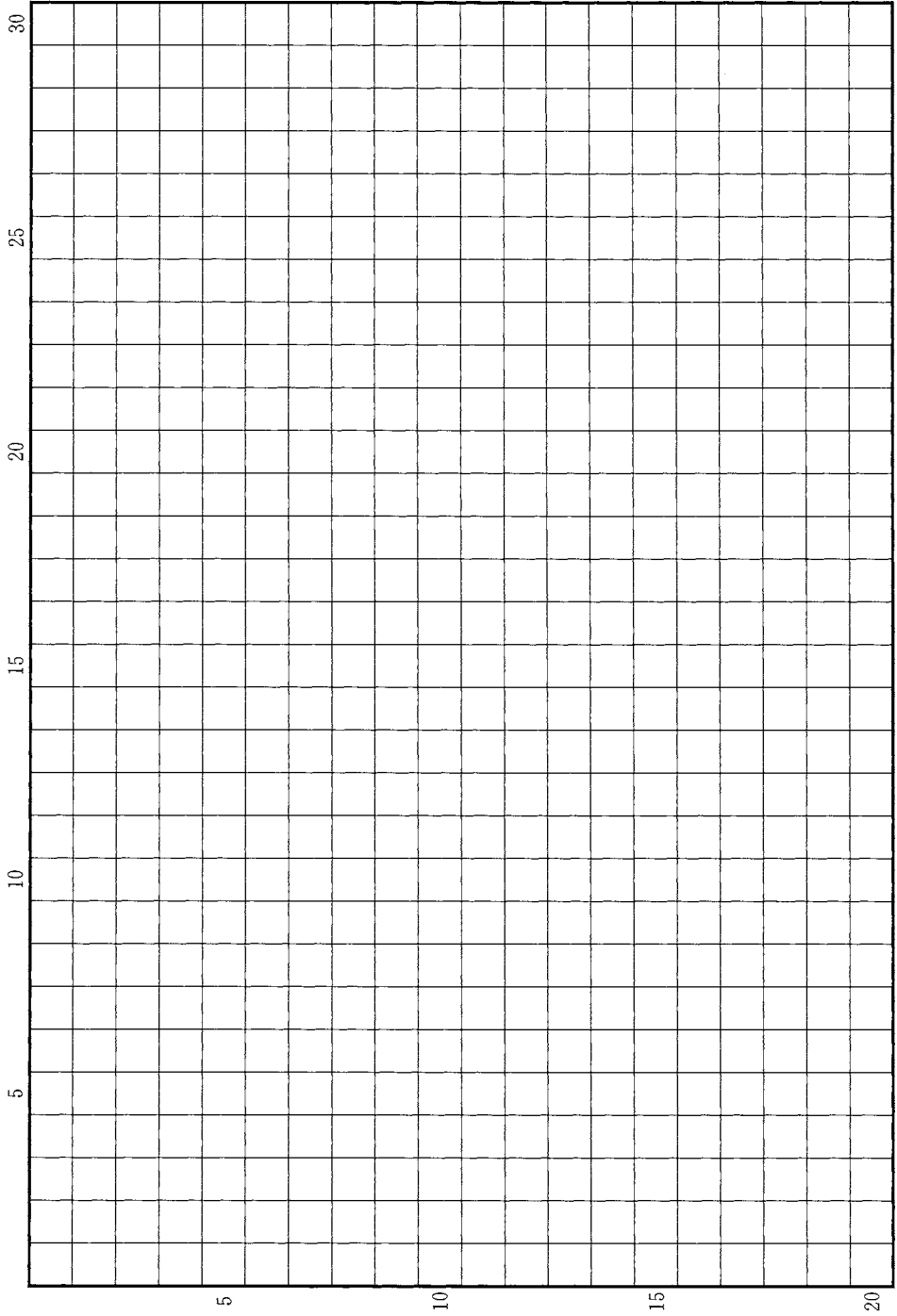
- (1) ヤマト政権では、大王が、臣姓・連姓の豪族の中から最も有力なものを大臣・大連に任命し、国政の重要事項の審議には、有力氏族の氏上も大夫(マエツキミ)として加わった。律令制の国政の運営には、こうした伝統を引き継いだ部分もあった。
- (2) 810年、嵯峨天皇は、藤原薬子の変(平城太上天皇の変)に際して太政官組織との連携を重視し、天皇の命令をすみやかに伝えるために、蔵人頭を設けた。蔵人頭や蔵人は、天皇と太政官とをつなぐ重要な役割を果たすことになった。
- (3) 太政大臣藤原基経は、884年、問題のある素行を繰り返す陽成天皇を退位させ、年長で温和な人柄の光孝天皇を擁立した。基経の処置は、多くの貴族層の支持を得ていたと考えられる。
- (4) 10世紀後半以降の摂関期には、摂政・関白が大きな権限を持っていたが、位階の授与や任官の儀式は、天皇・摂関のもとで公卿も参加して行われた。また、任地に赴いた受領は、任期終了後に受領功過^{こうかさだめ}定という公卿会議による審査を受けた。

設 問

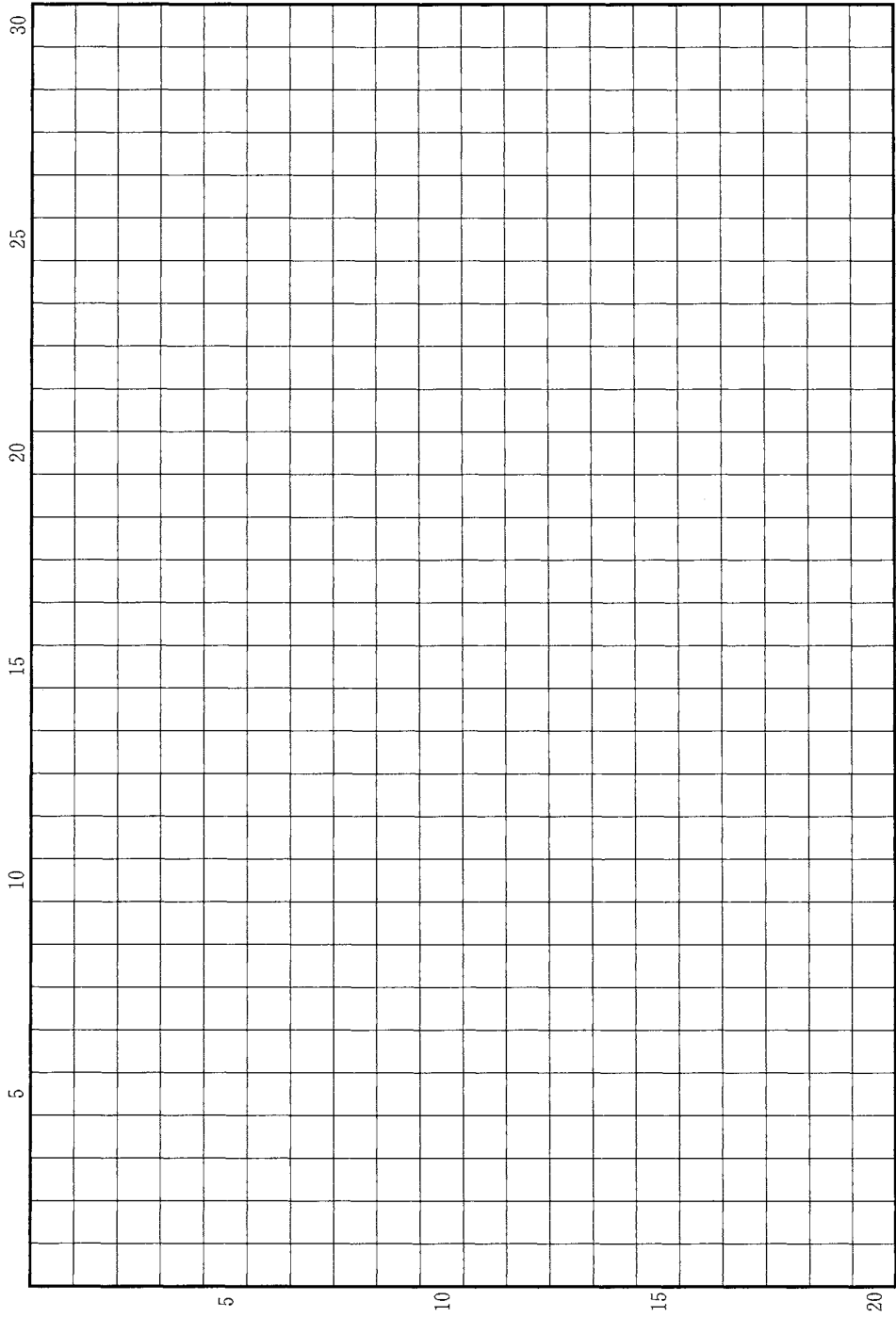
A 律令制では、国政はどのように審議されたのか。その構成員に注目して、2行以内で述べなさい。

B (4)の時期に、国政の審議はどのように行われていたか。太政官や公卿の関与のあり方に注目して、4行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

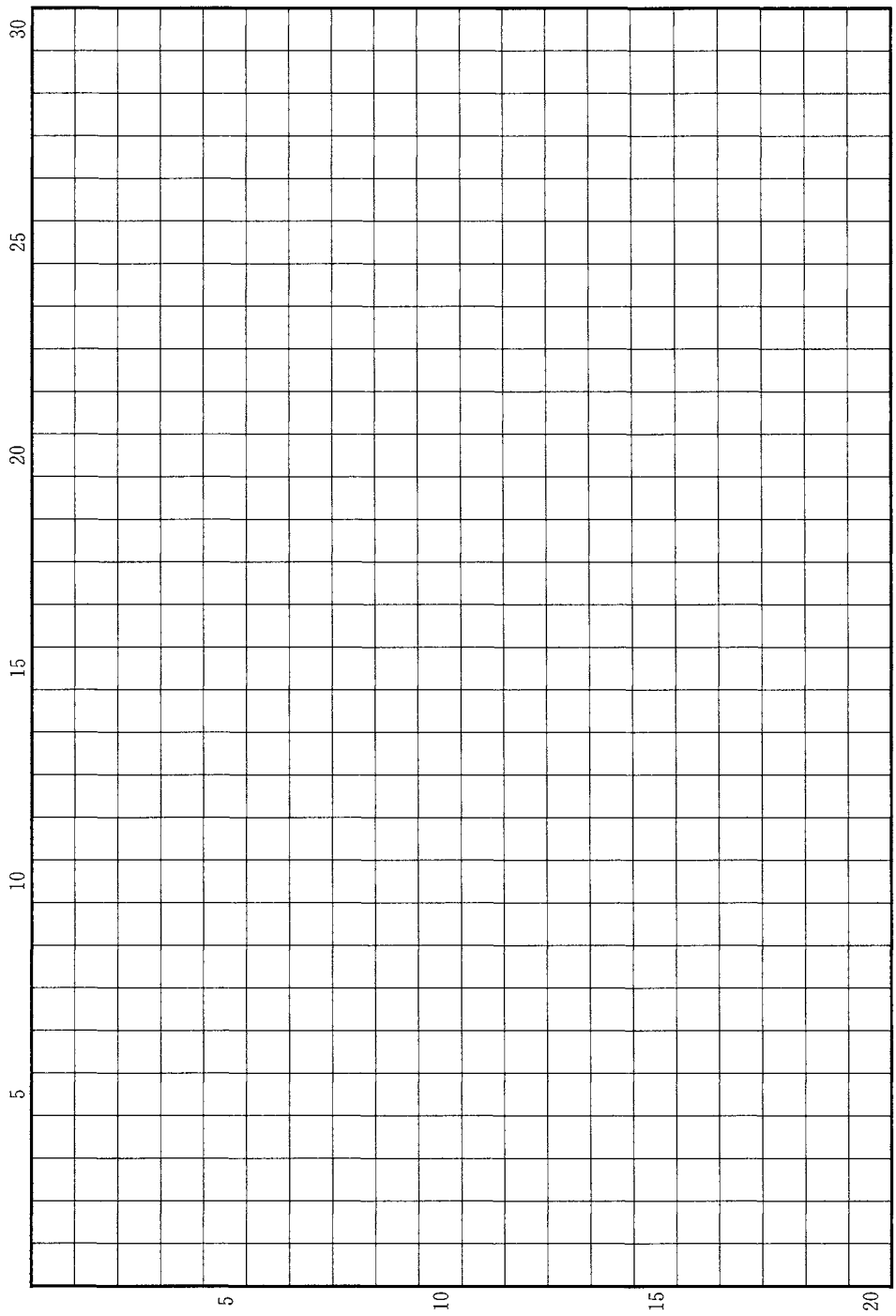
次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。解答は、解答用紙(ロ)の欄に記入しなさい。

- (1) 応仁の乱以前、遠国を除き、守護は原則として在京し、複数国の守護を兼ねる家では、守護代も在京することが多かった。乱以後には、ほぼ恒常的に在京した守護は細川氏だけであった。
- (2) 1463年に没したある武士は、京都に居住し、五山の禅僧や中下級の公家と日常的に交流するとともに、立花の名手池坊専慶に庇護を加えていた。
- (3) 応仁の乱以前に京都で活躍し、七賢と称された連歌の名手には、山名氏の家臣など3人の武士が含まれていた。
- (4) 応仁の乱以後、宗祇は、朝倉氏の越前一乗谷、上杉氏の越後府中、大内氏の周防山口などを訪れ、連歌の指導や古典の講義を行った。

設 問

応仁の乱は、中央の文化が地方に伝播する契機になったが、そのなかで武士の果たした役割はどのようなものであったか。乱の前後における武士と都市との関わりの変化に留意しながら、5行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。解答は、解答用紙(ハ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

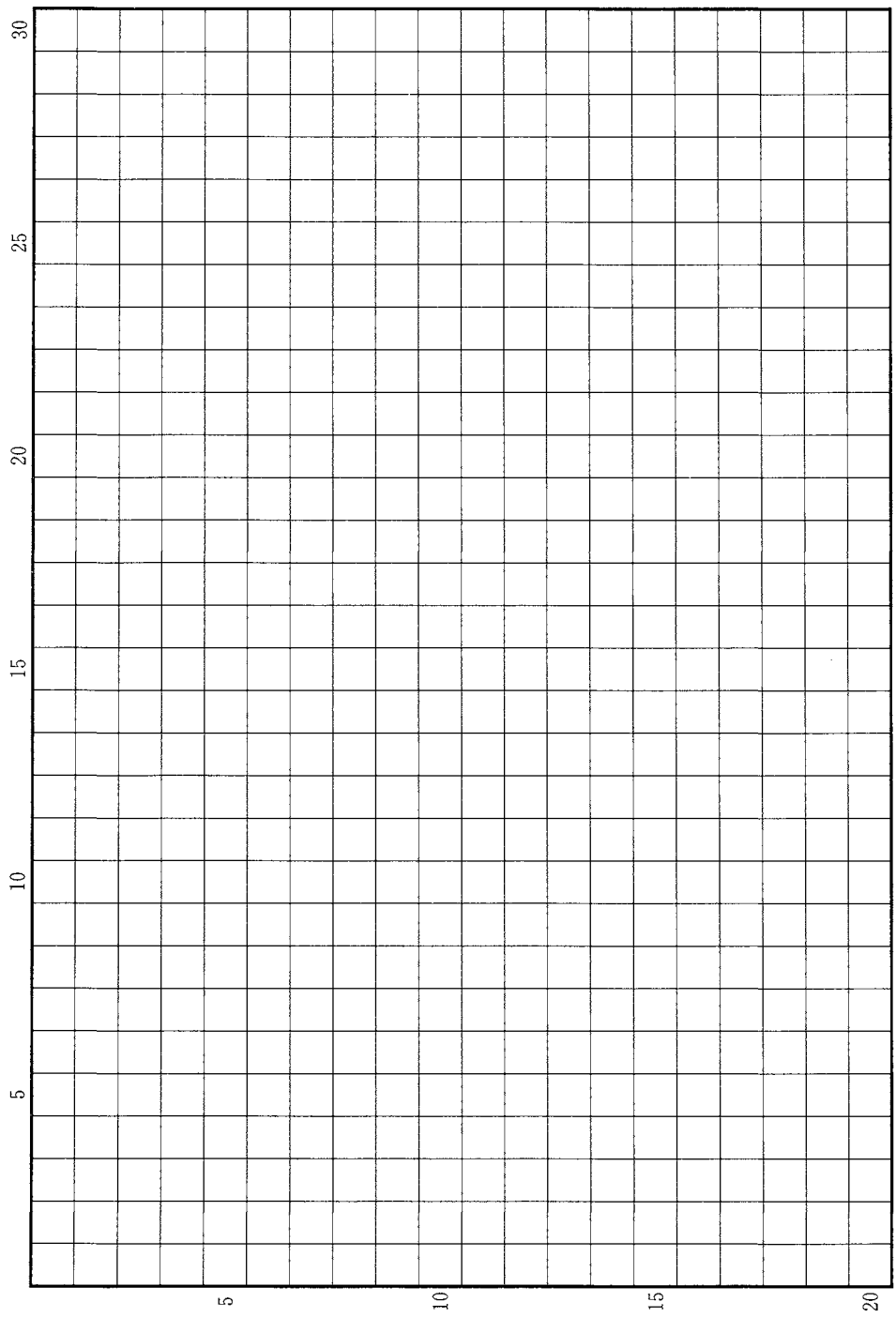
- (1) 1864年、禁門の変で敗れた長州藩を朝敵として追討することが決まると、幕府は征討軍の編成に着手し、従軍する諸大名・旗本に対して、定め通りの、各自の知行高に応じた数の人馬や兵器を用意することを命じた。
- (2) 幕府や諸藩は、武器・弾薬や兵糧などを運搬するため、領内の村々に、村高に応じた数の人夫を出すことを命じた。こうした人夫の徴発は村々の負担となった。
- (3) 幕府や諸藩は、長州征討に派遣する軍勢のため、大量の兵糧米を集めた。さらに、商人による米の買い占めなどもあって、米価が高騰した。
- (4) 長州藩は、いったん屈伏したが、藩論を転換して再び幕府に抵抗した。このため幕府は、1865年、長州藩を再度征討することを決定した。しかし、長州藩と結んだ薩摩藩が幕府の命令に従わなかっただけでなく、他の藩の多くも出兵には消極的となっていた。

設 問

A 長州征討に際し、どのような人々が、どのように動員されたのか。2行以内で述べなさい。

B 再度の長州征討に際し、多くの藩が出兵に消極的となった理由としてどのようなことが考えられるか。諸藩と民衆の関係に注目して、3行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 4 問

次の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えなさい。解答は、解答用紙(二)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

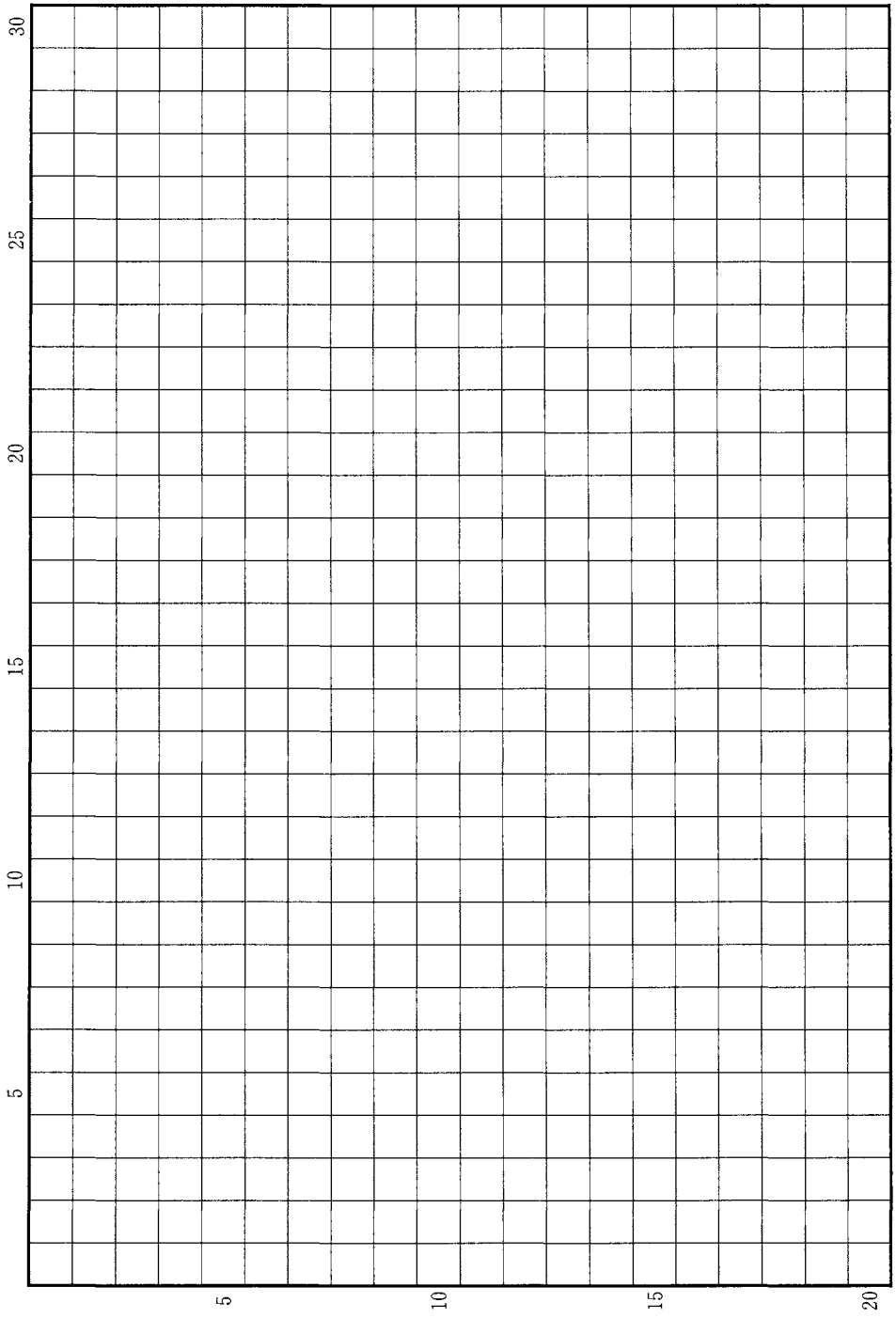
1889 年 2 月、大日本帝国憲法が発布された。これを受けて、民権派の植木枝盛らが執筆した『土陽新聞』の論説は、憲法の章立てを紹介し、「ああ憲法よ、^{なんじ}汝すでに生れたり。^{われ}吾これを祝す。すでに汝の生れたるを祝すれば、^{したが}随ってまた、汝の成長するを祈らざるべからず」と述べた。さらに、7 月の同紙の論説は、新聞紙条例、出版条例、集会条例を改正し、保安条例を廃止するべきであると主張した。

設 問

A 大日本帝国憲法は、その内容に関して公開の場で議論することのない欽定憲法という形式で制定された。それにもかかわらず民権派が憲法の発布を祝ったのはなぜか。3 行以内で説明しなさい。

B 7 月の論説のような主張は、どのような根拠にもとづいてなされたと考えられるか。2 行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



世界史

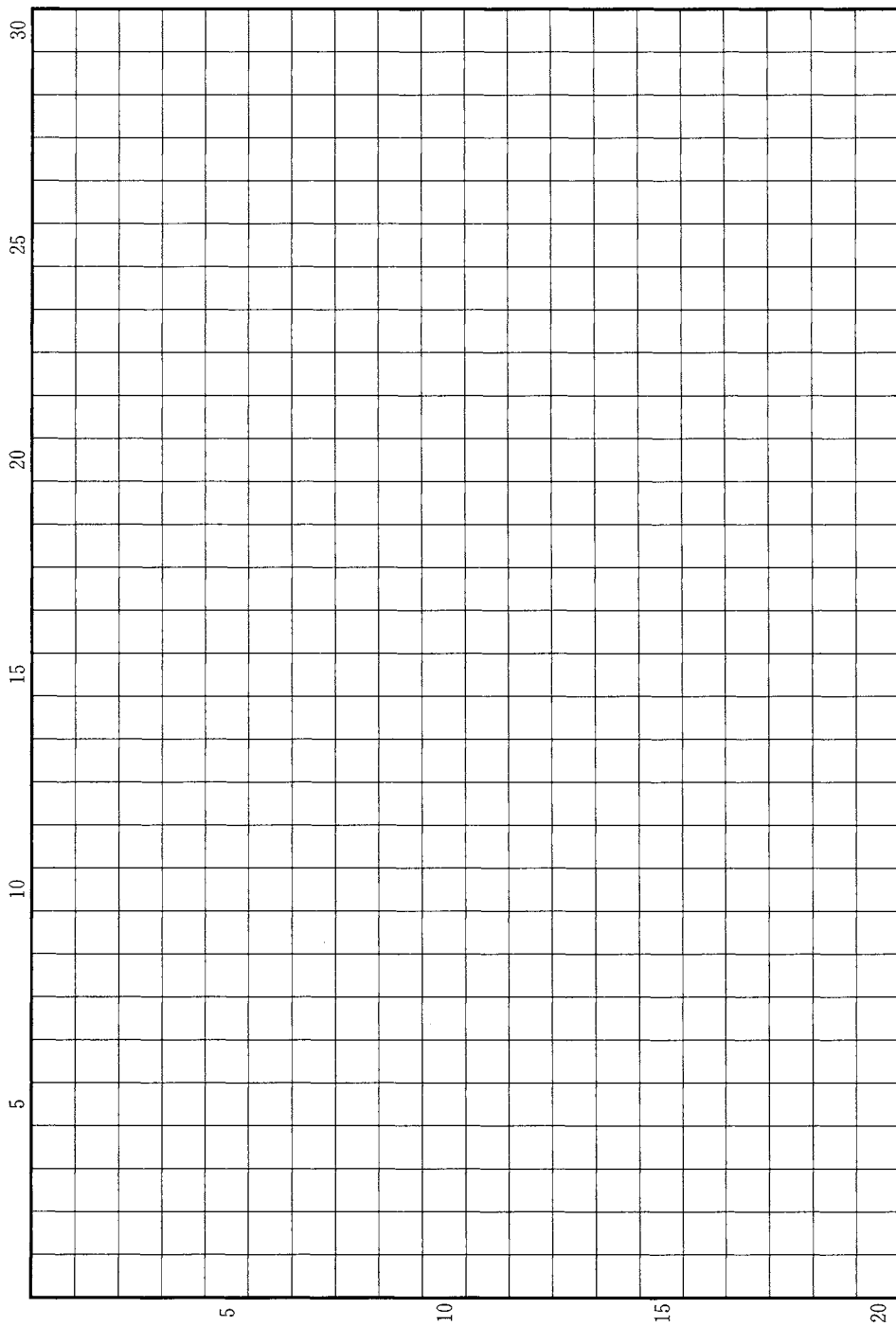
第 1 問

19 世紀のユーラシア大陸の歴史を通じて、ロシアの動向は重要な鍵を握っていた。ロシアは、不凍港の獲得などを目ざして、隣接するさまざまな地域に勢力を拡大しようと試みた。こうした動きは、イギリスなど他の列強との間に摩擦を引きおこすこともあった。

以上のことを踏まえて、ウィーン会議から 19 世紀末までの時期、ロシアの対外政策がユーラシア各地の国際情勢にもたらした変化について、西欧列強の対応にも注意しながら、論じなさい。解答は、解答欄(イ)に 20 行以内で記述し、必ず次の 8 つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。

| | | |
|---------|-------------|----------------|
| アフガニスタン | イリ地方 | 沿海州 |
| クリミア戦争 | トルコマンチャーイ条約 | ベルリン会議(1878 年) |
| ポーランド | 旅順 | |

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

世界史上「帝国」は、様々な形態を取りながら各地に広範な影響を与えてきた。しかし、拡大とともに「帝国」は周辺地域からの挑戦を受けることになる。各時代における「帝国」に関する以下の設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) ビザンツ帝国(東ローマ帝国)は、6世紀のユスティニアヌス帝の時代に地中海をとりまく多くの地域を征服し支配したが、彼の死後、次第にその支配地を失っていった。その過程で、ビザンツ帝国の歴史に特に大きな影響を与えたのが、トルコ系の人々が打ち立てた諸国家による攻撃であった。この経緯について4行以内で記述しなさい。

問(2) オランダでは、1602年にアジアとの貿易のためにオランダ東インド会社が設立された。オランダ海洋帝国を象徴するこの会社は、商業的利権の獲得と拡大のために、アジア各地で軍事的衝突や戦争を引き起こし、のちの本格的な植民地支配への下地をつくりだした。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) アジアにはすでにポルトガルが進出していたため、オランダ東インド会社はポルトガルの重要拠点を攻撃し、占領することがしばしばあった。そうした拠点のうち、最終的にオランダ側の手に落ち、オランダ東インド会社の拠点となったマレー半島にある海港都市の一つを挙げなさい。

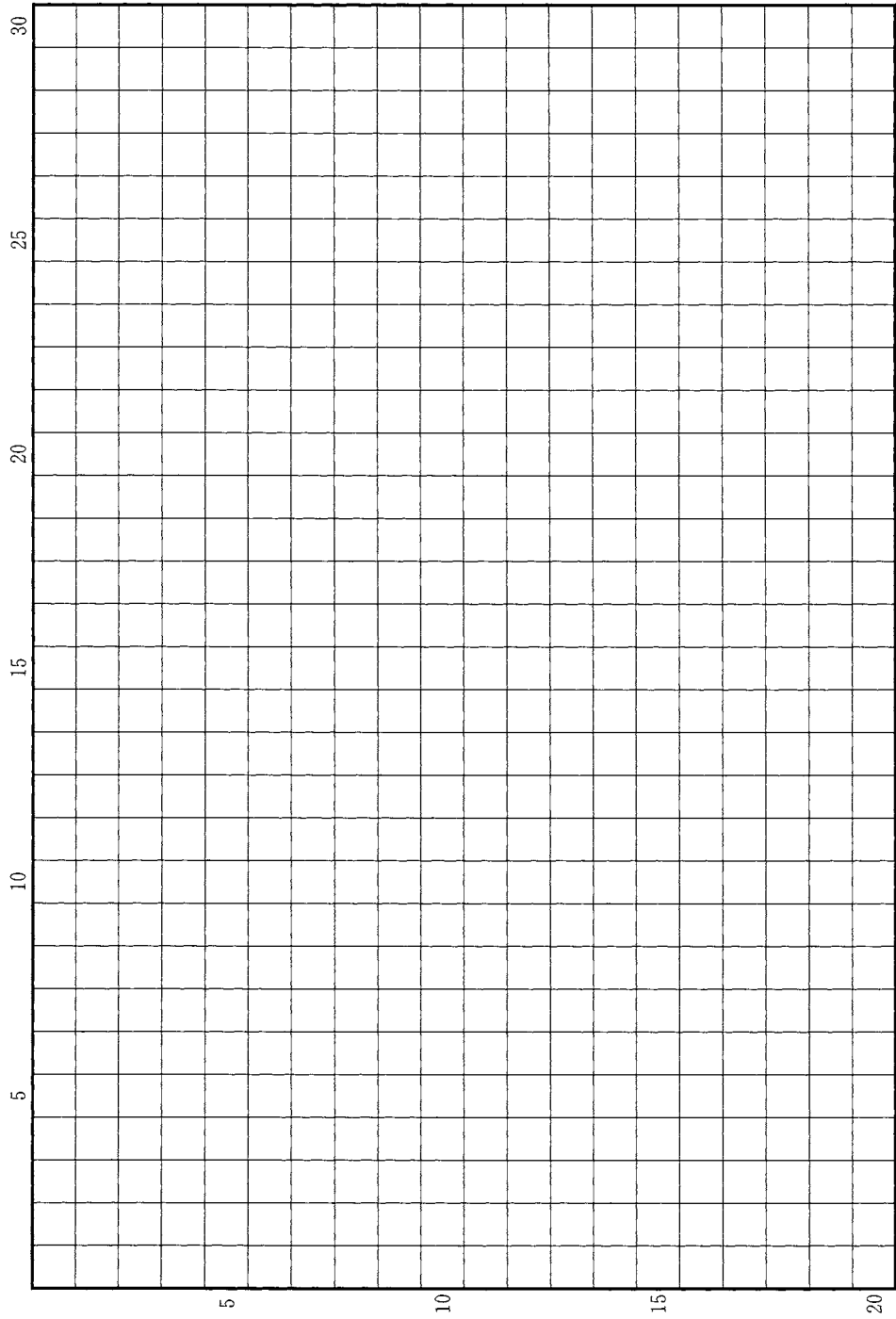
(b) オランダ東インド会社は、17世紀から18世紀にかけて、次第にジャワ島内部への支配を強めた。この当時、ジャワ島内で発展した産業の一つが砂糖生産であり、砂糖生産に関わる技術や一部の労働力は中国から導入された。この背景にある中国側の国内事情を2行以内で記述しなさい。

問(3) 1946年に始まったインドシナ戦争は、1954年のジュネーブ会議により終結した。しかし、この地域での共産主義勢力の拡大を恐れるアメリカ合衆国はこの会議の決定を認めず、その後およそ20年にわたり、ベトナムへの政治・軍事的介入を続けることになった。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

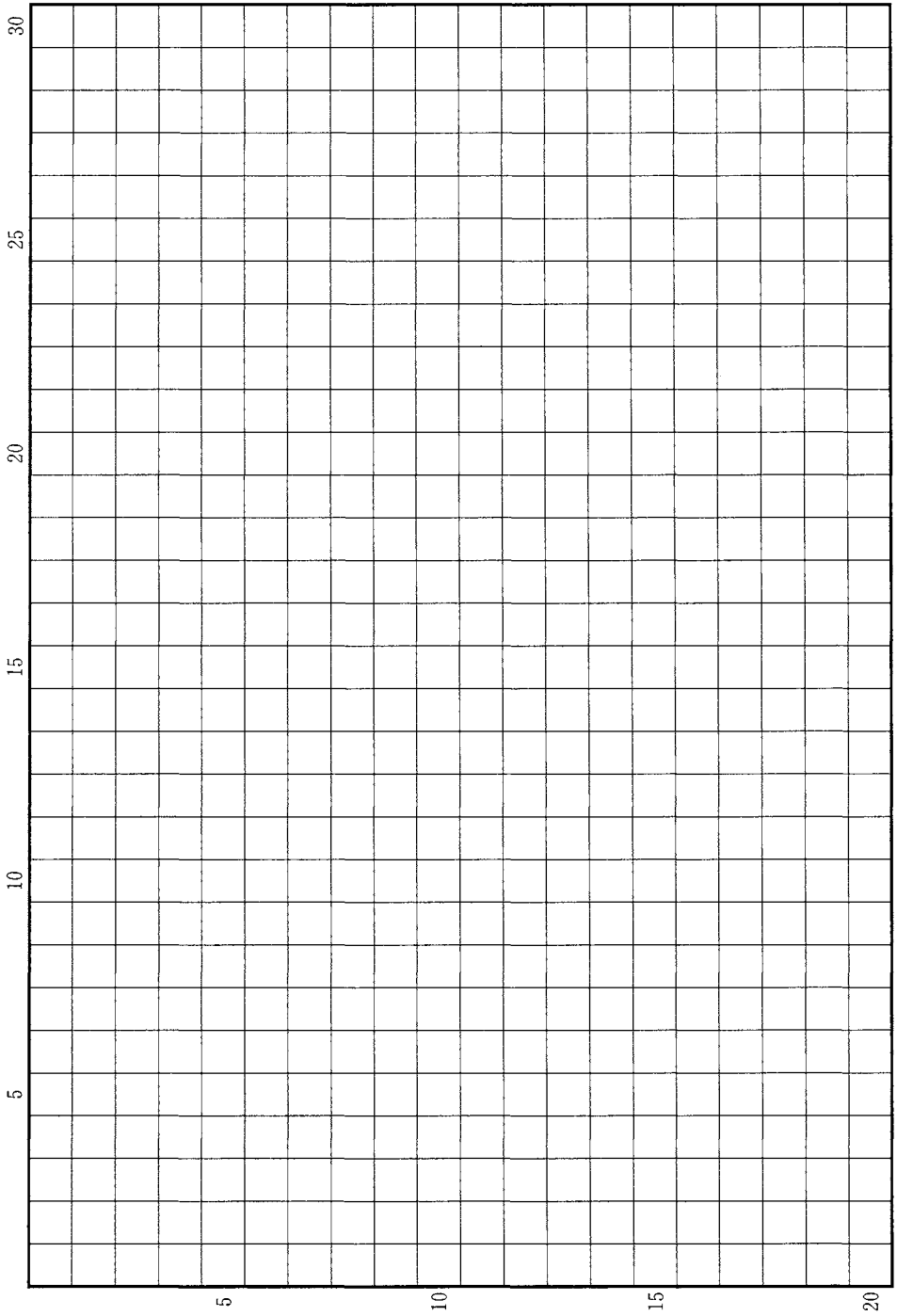
(a) 1965年のはじめ、アメリカ合衆国はベトナムへの介入をさらに強化する決定を下した。この決定を下した大統領の名前とその内容を2行以内で記述しなさい。

(b) ベトナム戦争の戦費の拡大により、アメリカ合衆国の財政は悪化し、1971年にはその経済政策の変更を余儀なくされた。この新しい政策の内容とその国際的影響を2行以内で記述しなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

人間の生存の基礎である生産は、それぞれの時代・地域でさまざまな様相を呈しながら、歴史の発展に大きな役割を果たしてきた。技術、制度、労働者、生産物など、生産に関連する以下の事柄についての設問(1)~(10)に答えなさい。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記しなさい。

問(1) 古代の世界において、武器・農工具に用いる鉄の生産は重要な意味をもった。西アジアで最初に鉄製武器を生産し、用いたとされる民族の名称を記しなさい。

問(2) 古代ギリシアのポリスにおいては、生産活動はおもに奴隷や地位の低い住民が担っていた。このうちスパルタにおいて「周辺に住む人」という意味をもち、工業生産に従事する割合の高かった住民の名称を記しなさい。

問(3) 古代の東西交易を象徴する中国産のある繊維の生産は、ユスティニアヌス帝期ビザンツ帝国への原料生産技術の伝播を経て、その後ヨーロッパ各地に広まった。この技術の名称を記しなさい。

問(4) 中国江南では、新たな穀物品種の導入により農業生産が増大した。北宋の時代に現在のベトナムに当たる地域から伝来し、長江下流域の水田地帯に普及した稲の品種を記しなさい。

問(5) 西ヨーロッパでは中世都市が発展すると、おもに手工業生産者からなるツunftとよばれる組織が形成され、彼らが主体となるツunft闘争が各地で起こった。この闘争は誰に対する何を求めた闘争だったか。1行以内で記述しなさい。

問(6) エルベ川以東の東ヨーロッパ地域では、近世に入ると領主の農業生産への関与が強まり、グーツヘルシャフトと呼ばれる独特の経営形態が発達した。この農業経営の特色を、当時の交易の発展と関連づけて30字以内で記述しなさい。

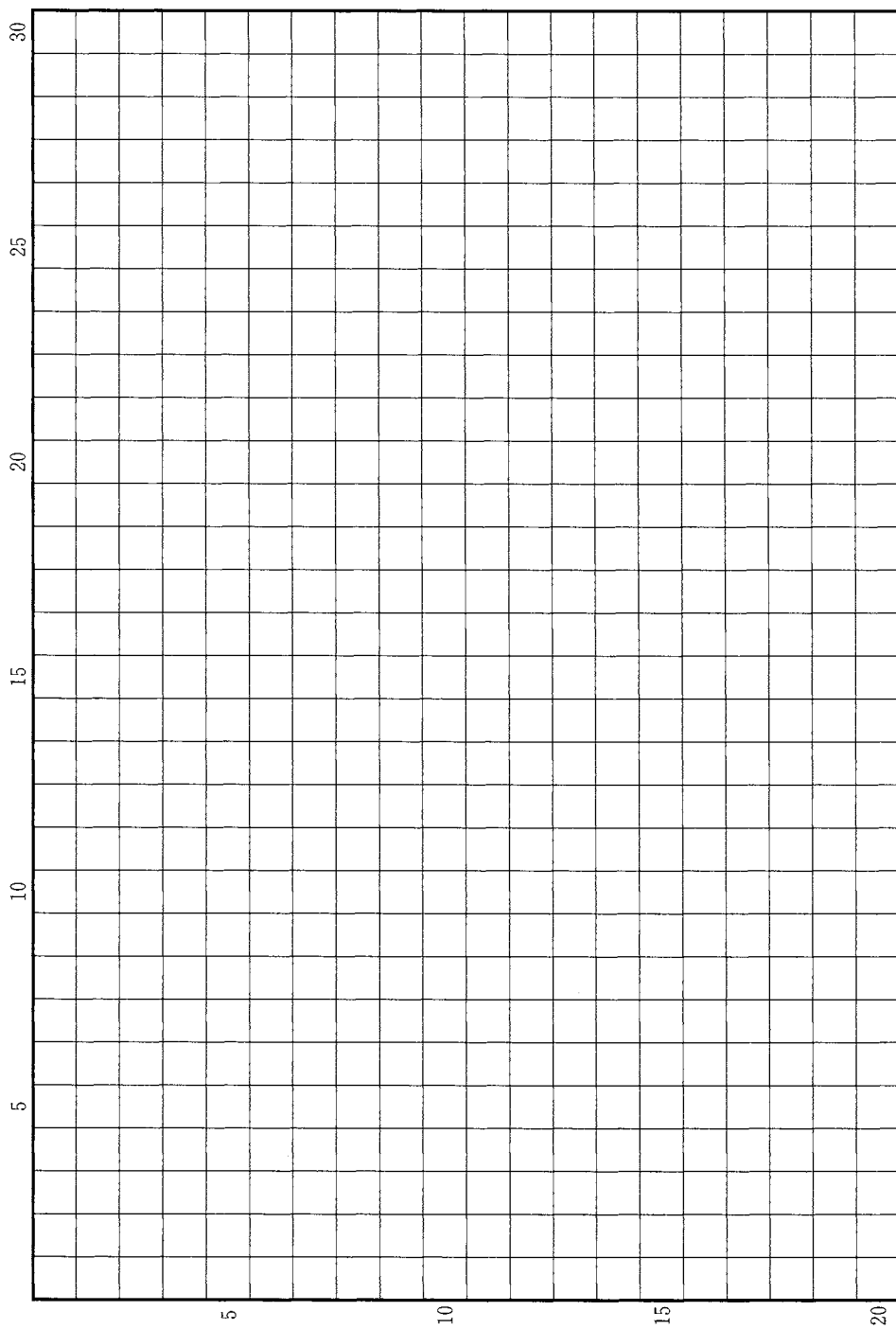
問(7) マルクスとエンゲルスは、1848年に『共産党宣言』をあらわして、社会主義社会を実現するための労働者の国際的団結を訴えた。その後、この理念を実現するための組織が結成され、マルクスがその指導者となった。この組織の名称と結成の場所を記しなさい。

問(8) インドで1930年に組織された民族運動においては、政府の専売するある物品を生産することが象徴的な意味をもった。その専売品の名を含む運動の名称を、その指導者の名とともに記しなさい。

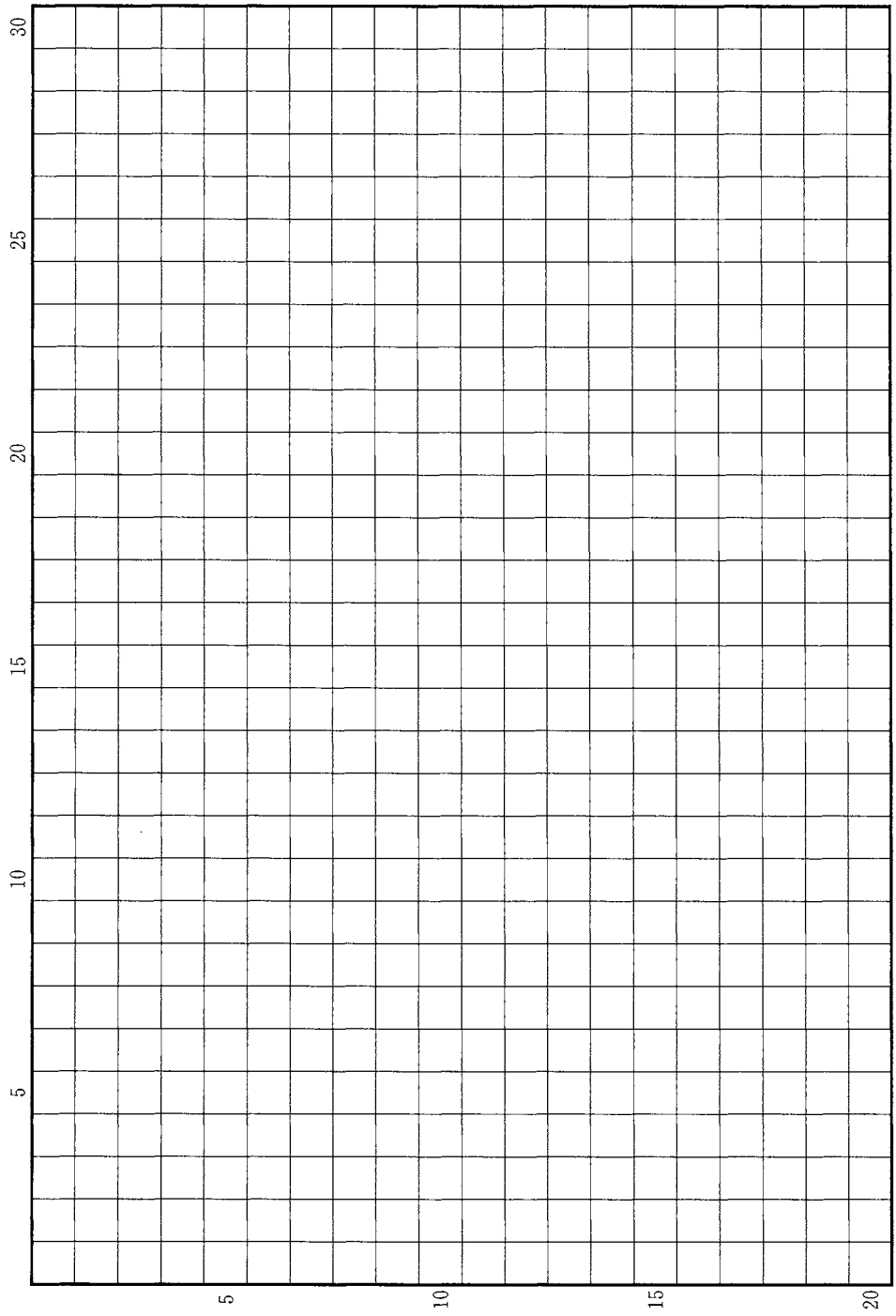
問(9) アメリカ合衆国のローズヴェルト大統領は、1929年に起こった世界恐慌に対処し、景気を回復させるためにニューディール政策を実施した。政府が経済に積極的に介入・統制するために制定された法律を2つ記しなさい。

問(10) 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国の支援を受けつつ経済を復興させた西ヨーロッパ諸国は、より一層の発展のために経済統合を推進した。現在のヨーロッパ連合(EU)への発展の基礎となる、1952年に発効した西ヨーロッパ最初の経済統合機構の名称を記しなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



地 理

第 1 問

世界と日本の化石燃料と再生可能エネルギーに関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(イ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

人間活動に必要なエネルギーのほとんどは、化石燃料の燃焼によってまかなわれている。しかし化石燃料への依存は、燃焼の際に発生する二酸化炭素^(a)による地球温暖化などの問題がある。そうしたことから、太陽や地熱など自然のエネルギーや植物を利用したエネルギーの利用^(b)が拡大しているが、化石燃料を代替するまでには至っていない。

- (1) 下線部(a)について、表 1—1 は、2010 年に二酸化炭素排出量が世界でもっとも多かった上位 5 ヶ国を、その世界の排出量に占める割合と、それぞれの国の 1 人あたり排出量とともに示したものである。(ア)～(エ)の国名を、ア—エのように答えなさい。

表 1—1

| 国 | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | 日本 |
|---------------|------|------|-----|------|-----|
| 二酸化炭素排出量比(%) | 24.4 | 17.7 | 5.4 | 5.3 | 3.8 |
| 1 人あたり排出量(トン) | 5.6 | 17.4 | 1.4 | 11.4 | 9.1 |

日本エネルギー経済研究所資料による。

- (2) 下線部(b)について、植物を利用したバイオマス燃料の燃焼は、バイオマスが再生産されれば、地球温暖化にはつながらないとみなされている。その理由を下記の語句をすべて用いて2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

光合成 二酸化炭素

- (3) 植物からエタノールを生成して燃料として利用するバイオマスエネルギーの利用が、アメリカ合衆国とブラジルで進んでいる。それぞれの国でもっとも多く原料として使われている植物名を、アメリカー○、ブラジルー○のように1行で答えなさい。また、以上のような形でのアメリカ合衆国のバイオマスエネルギー生産によって生じている問題について、2行以内で述べなさい。

設問 B

図 1—1 は、日本における再生可能エネルギーによる発電能力(設備容量)の推移を示したものである。また、表 1—2 は、A と B の発電能力(設備容量)について、都道府県別に上位 5 位までを示している。

- (1) 図表中の A～D は、風力・水力・地熱・太陽光のいずれかである。A～D をそれぞれ A—○のように答えなさい。
- (2) A の設備容量の伸びは、1995 年以降停滞している。その理由を A の立地条件とともに 2 行以内で述べなさい。
- (3) 石炭のような化石燃料は、地球が受ける太陽エネルギーの蓄積により生成したものと考えることができる。上記再生可能エネルギーのうち、太陽エネルギーによらないものを 1 つ答えなさい。
- (4) B の 1, 2 位を占める青森県、北海道は、B の立地条件としてどのような優位性を備えているか。自然条件の面から 1 行で述べなさい。

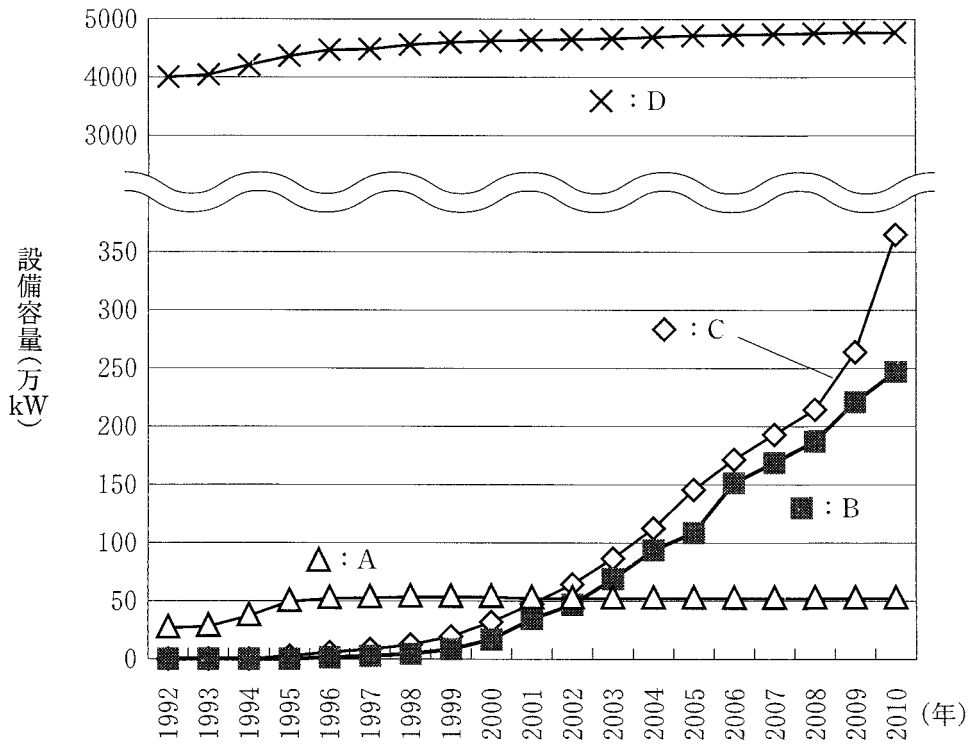


図1—1

経済産業省資料による。

表1—2

単位：万kW

| | A(2010年) | | B(2010年) |
|------|----------|------|----------|
| 大分県 | 15.1 | 青森県 | 29.3 |
| 岩手県 | 10.4 | 北海道 | 25.7 |
| 秋田県 | 8.8 | 鹿児島県 | 19.8 |
| 福島県 | 6.5 | 福島県 | 14.4 |
| 鹿児島県 | 6.0 | 静岡県 | 13.0 |

経済産業省資料による。

第 2 問

世界のヒト・モノ・情報の流動に関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、解答用紙の(口)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問A

図2—1(30ページ)は、アメリカ合衆国を中心とする2008年における音声電話の通信量の分布を示している。ここでの音声電話は、電話専用回線での通話と、インターネットの回線を用いた通話の両方を含む。2つの国・地域を結ぶ線が太いほど、それらの国・地域間の通信量が多い。この図は海底ケーブルなどの主要な長距離の通信路線を対象としており、短距離の通信路線を用いた通話(たとえば日本と韓国間の通信)は示されていない。

表2—1(31ページ)は、世界の10ヶ国における、人口100人あたりのインターネット利用者数(2008年)および1人あたりの国際電話の平均年間通話時間(分、2005年、ただしアメリカ合衆国とフィリピンは2004年、インドは2002年)を示している。ここでの国際通話時間は、図2—1とは異なり、国境を越えて行われる全ての通話を対象としている。

- (1) アメリカ合衆国とヨーロッパとの間では図2—1のAのイギリスとの回線の通信量が多く、アメリカ合衆国と中米およびカリブ海地域との間ではBのプエルトリコとの回線の通信量が多い。これらの理由を、あわせて2行以内で述べなさい。
- (2) 近年、アメリカ合衆国とインドとの通信量が急増しており、図2—1によると、日本・韓国・中国との通信量に比べてかなり多い。この理由を2行以内で述べなさい。
- (3) 表2—1の(a)～(d)の国は、アイスランド、シンガポール、日本、フランスのいずれかである。(a)～(d)の国名を、a—○のように答えなさい。
- (4) 図2—1によるとアメリカ合衆国とインドとの通信量はかなり多いが、表2—1によるとインドではインターネットや国際電話の利用が他国に比べて低調である。このような現象が生じる原因を、インドの社会状況を踏まえて2行以内で述べなさい。

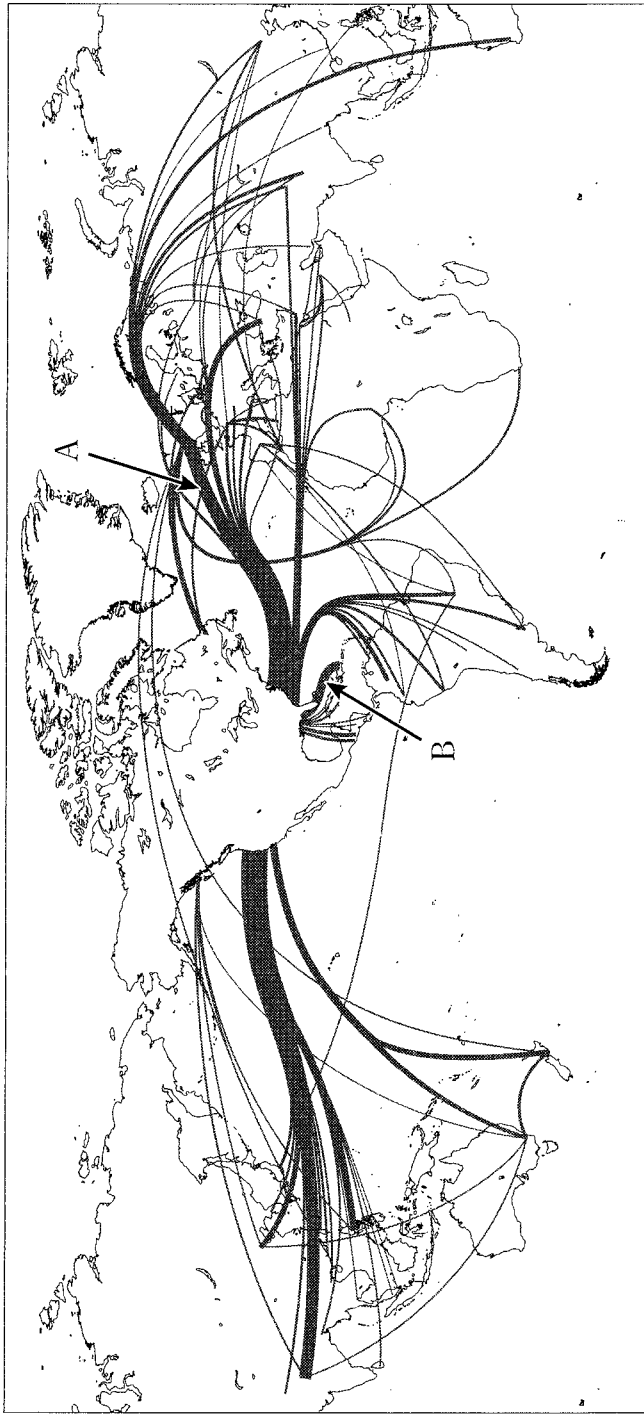


図 2—1

TeleGeography 社資料による。

表 2—1

| 国名 | 人口 100 人あたりの インターネット利用者数 | 1 人あたりの国際電話の 平均年間通話時間(分) |
|---------|-----------------------------|-----------------------------|
| (a) | 90.0 | 240.0 |
| アメリカ合衆国 | 75.9 | 280.0 |
| (b) | 75.2 | 46.3 |
| (c) | 69.6 | 1063.3 |
| (d) | 67.9 | 182.8 |
| スロバキア | 66.0 | 90.0 |
| 中国 | 22.5 | 7.3 |
| シリア | 17.3 | 49.8 |
| フィリピン | 6.2 | 28.0 |
| インド | 4.5 | 3.0 |

世界銀行資料による。

設問 B

図 2—2 と図 2—3 は、世界の主要都市圏の国際空港について、国際旅客数と国際航空貨物の取り扱い量の変化をみたものである。

- (1) 図 2—2 では、アメリカ合衆国やアジアの主要都市圏と比べ、ロンドンやパリといったヨーロッパの主要都市圏で、国際旅客数の絶対数および 1990 年から 2010 年にかけての伸びが大きくなっている。その理由として考えられることを 2 行以内で述べなさい。

- (2) 図 2—3 では、アジアの主要都市圏における国際航空貨物の取り扱い量の伸びが目立つ。とりわけ、2000 年から 2010 年にかけて、香港、ソウル、上海、台北で、国際航空貨物の取り扱い量が大幅に増加した共通の理由として考えられることを 2 行以内で述べなさい。

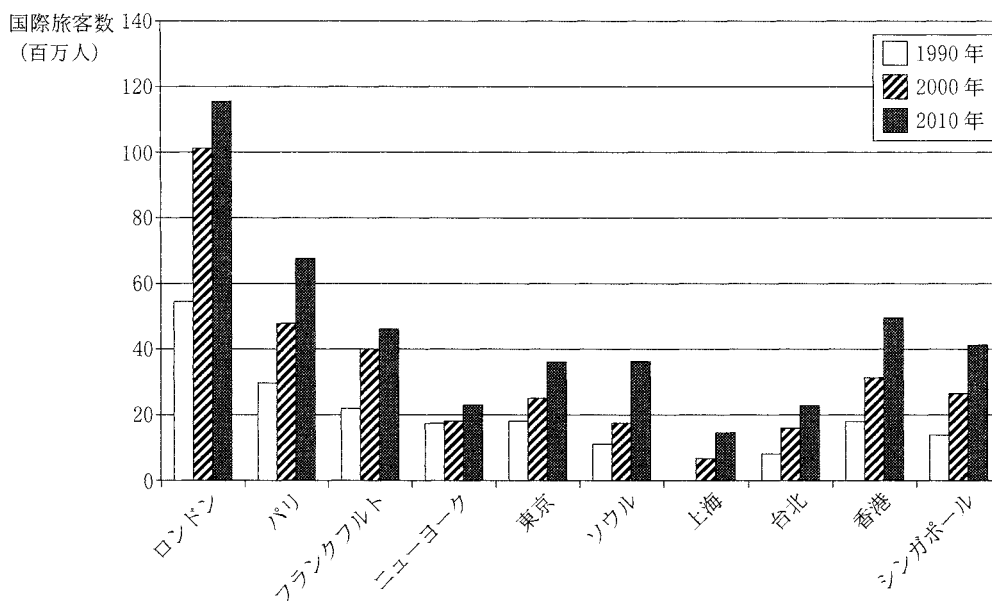


図2-2 世界の主要都市圏における国際旅客数の変化

都市圏内にある複数の空港の国際旅客数(トランジットを含む)の合計値。

ただし、ニューヨークはジョン・F・ケネディ国際空港のみの数値。

1990年の上海の数値は掲載されていない。

『航空統計要覧』各年版による。

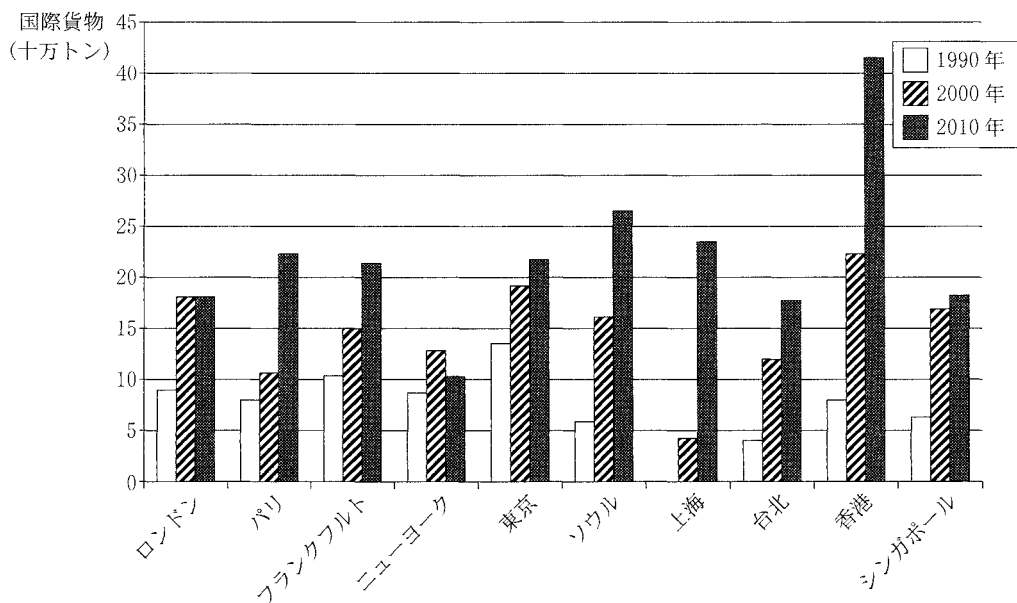


図 2—3 世界の主要都市圏における国際航空貨物取り扱い量の変化

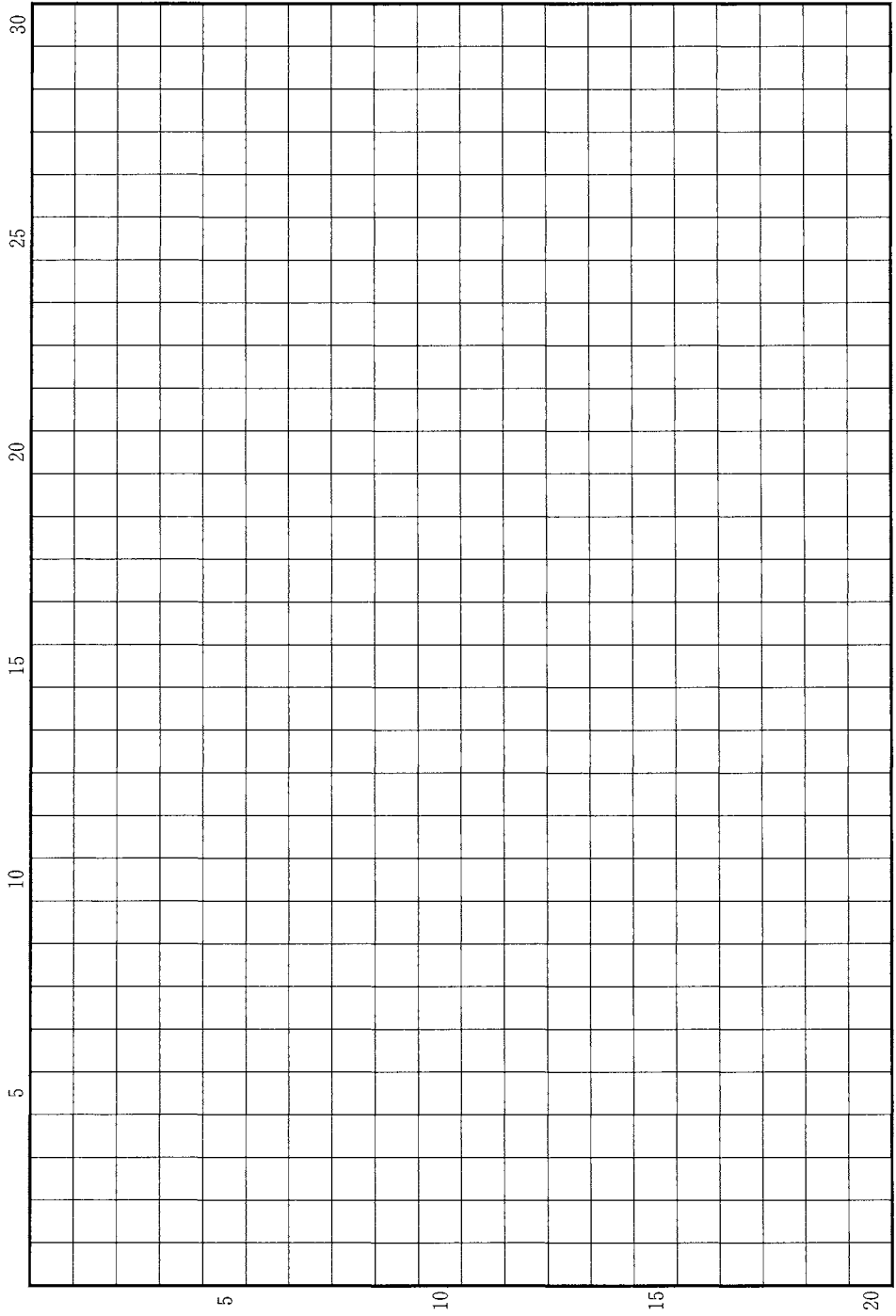
都市圏内にある複数の空港の国際航空貨物取り扱い量の合計値。

ただし、ニューヨークはジョン・F・ケネディ国際空港のみの数値。

1990年の上海の数値は掲載されていない。

『航空統計要覧』各年版による。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

ヨーロッパの国々に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の (ハ) 欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

図 3—1 は、ヨーロッパの主な国について輸出品構成と研究開発支出の割合をみたものである。

- (1) 図 3—1 の A～D は、オランダ、スイス、ノルウェー、ポーランドのいずれかである。A～D の国名を、それぞれ A—○のように答えなさい。
- (2) イタリアでは、繊維製品の割合が、他の国に比べ大きくなっている。とりわけイタリアの中・北部は、1980 年代に「第 3 のイタリア」と呼ばれ、国際競争力のある繊維産地が形成されてきた。こうした地域では、繊維製品の生産にどのような特徴がみられたか、下の語群の中から適当な用語 2 つ以上を用いて 2 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。
- (3) スウェーデンやフィンランドといった北欧諸国では、GDP に占める研究開発支出の割合が高くなっている。その理由として考えられることを、下の語群の中から適当な用語 2 つ以上を用いて 2 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

語 群

| | | | | |
|--------|-------|------|------|----|
| 外国人労働者 | 家族 | 教育 | 高度人材 | 集積 |
| 人口 | 多国籍企業 | 中小企業 | デザイン | 分業 |

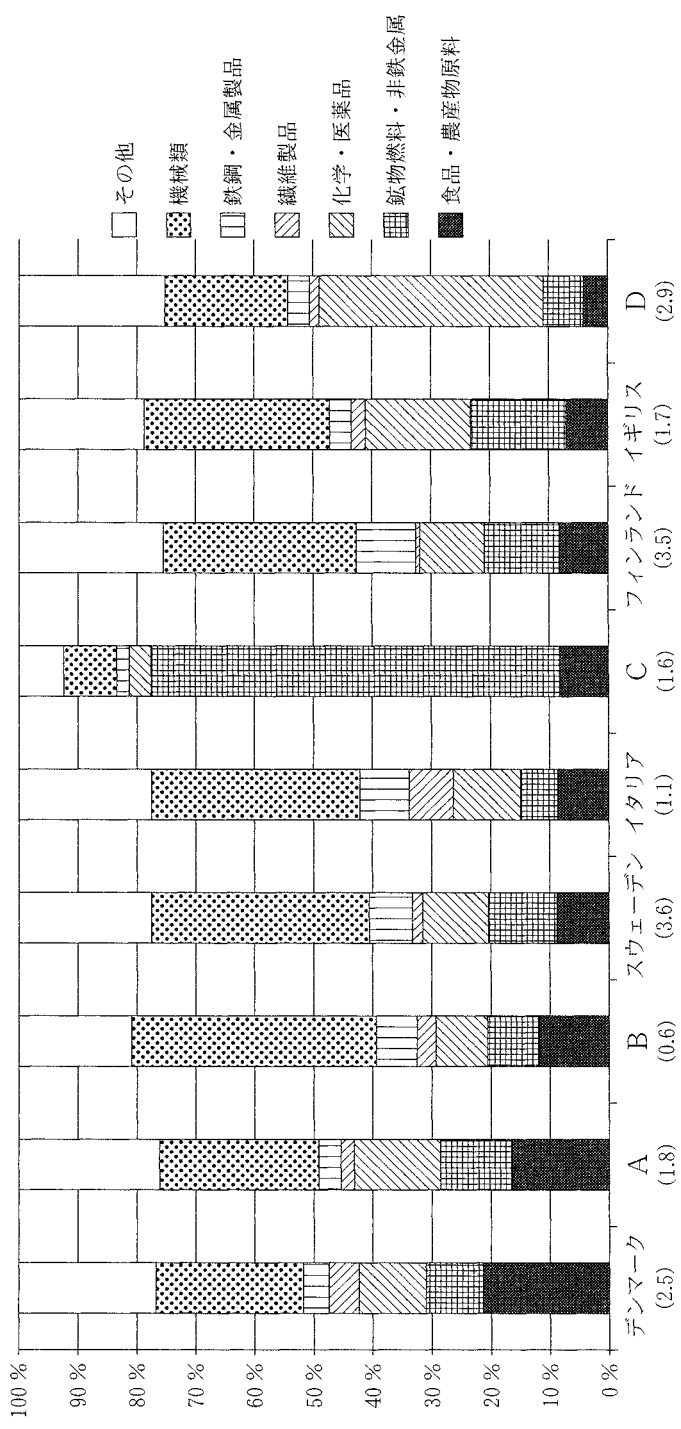


図3-1 ヨーロッパ主要国における輸出品構成(2010年)

()の数字は、2004年時点における各国の国内総生産(GDP)に占める研究開発支出の割合(%)を示す。
 国連貿易統計年鑑およびヨーロッパ統計年鑑による。

設問B

表3—1は、EUの加盟国であるドイツ、フランス、スペインについて、2011年時点でのEU域内相手とEU域外相手に分けた貿易額、および、各国のEU域内相手とEU域外相手を含めた輸出上位品目を示している。なお、貿易収支はそれぞれの輸出と輸入の差額である。また、表3—1中の輸出上位品目は、図3—1の輸出品目構成とは分類が異なる。

- (1) スペインとフランスはいずれも貿易収支が赤字であるが、フランスでは、その赤字の多くがEU域内との貿易で生じている。フランスの貿易で、EU域内との貿易赤字が最も大きいのは機械類や輸送用機器であるが、これらもEU域外との貿易収支は黒字となっている。こうした現象が起こる理由として考えられることを、2行以内で述べなさい。
- (2) スペインには、世界的に知られている自動車のブランドが見られないのに、自動車が輸出第1位となっている。その理由を、スペイン国内外の状況にふれながら、3行以内で述べなさい。
- (3) 表3—2は、EU全体から見た貿易収支が大きな赤字となっているEU域外の相手国を示している。それぞれの相手国で、EUが貿易赤字を抱える理由が、どう異なっているのかを、2行以内で述べなさい。

表 3—1

(2011 年)

| 国 | EU 域内 | | | EU 域外 | | | 輸出上位品目 | | | |
|------|-------|-----|------|-------|-----|------|--------|-----|-----|------|
| | 輸出 | 輸入 | 貿易収支 | 輸出 | 輸入 | 貿易収支 | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 |
| ドイツ | 628 | 572 | 56 | 431 | 330 | 101 | 機械類 | 自動車 | 化学品 | 電気機器 |
| スペイン | 147 | 154 | -7 | 74 | 117 | -43 | 自動車 | 化学品 | 鉄鋼等 | 機械類 |
| フランス | 261 | 348 | -87 | 167 | 169 | -1 | 化学品 | 機械類 | 自動車 | 航空機 |

EU の範囲は 2011 年時点の 27 カ国。

単位は 10 億ユーロ。

Eurostat および通商白書 2012 年による。

表 3—2

(2011 年)

| 相手国 | 輸出 | 輸入 | 貿易収支 |
|-----|-----|-----|------|
| 中国 | 136 | 293 | -157 |
| ロシア | 108 | 199 | -91 |
| 日本 | 49 | 69 | -20 |

EU の範囲は 2011 年時点の 27 カ国。

単位は 10 億ユーロ。

Eurostat による。